

## 実践記録

学校/学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	学級活動：『インターネットってこわいんだ』	
キーワード		
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c 3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	c3-1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	デジタルコミュニケーションにおけるトラブル防止の方法や、上手なコミュニケーションの取り方がわかる。	
使用教材	教材名	NTT東日本『ネット安全教室』の方2名による出前授業

### 展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1 『サッカーチームのメンバーに対する不満を、ネット上の掲示板で暴露してしまったことで、その後それに同調する書き込みがエスカレートして増えてしまった』という内容のアニメを見る。	・どのようなビデオを見るのか、簡単に説明をしてから見せる。
展開	2 ビデオを見た感想をワークシートに書いた後、発表をする。 3 トラブル予防の具体的な方法や、困った時にどうするかを学習する。	・自分がこのような立場（掲載した立場・掲載された立場）だったらどのような気持ちになるかを考えさせる。 ・図や絵を使ってわかりやすく説明する。 トラブル予防の具体的な方法や困った時にどうすればよいかかわかる。
おわり	4 授業のまとめをする。	・今日の授業で思ったことや感じたことを自由に発表させる。 インターネットを使用することでどのような結果を招くか考え、ルールやマナーを守り、正しく使わなければならないということがわかる。

### 授業の成果

- ・インターネットでは、自分で自由に意見を発信できます。そんな中、D君がS君に対する不満をネット上で発信してしまい、多くの人に見られて大問題になってしまったというアニメを見ました。こんなことをしなければ良かったと後悔しても、もう遅いということがあります。だからこそ、このことが正しいかどうかの判断をし、自分の心で決めることが大切だと思いました。私も、こういうトラブルが起こらないように気をつけていきたいです。
- ・以上のような感想を持った子がほとんどであった。『自分の行動がどのような結果を招くか考え、相手のことを思いやって行動することが大切である。』『トラブル予防の具体的な方法や、困った時にはどうすればよいか。』『インターネットは、未来の社会を支えていく大切な役割をになっているからこそ、ルールやマナーを守り、上手に正しく使っていくことが大切である』ということを実感することができた1時間であった。

### 指導のポイント・留意点

- ・外部講師との打ち合わせを綿密に行う（特に、本時のねらいとこれまでの児童の実態）。
- ・載せた側・載せられた側の両方の立場に立って考えることが大切である。
- ・トラブル予防の具体的な方法や、困った時の対処方法については、映像等を使って時間をかけて丁寧に指導する（児童の不安を取り除き、安心して使えるように）。